

セントケア・ホールディング株式会社



**平成20年3月期 第1四半期
決算説明会**

平成19年8月21日

SAINT-CARE HOLDING CORPORATION

環境の変化 1

法令の遵守の体制強化

- 自主点検体制の強化
- 有資格者を中心とした人材確保
 - ⇒看護師 : **+58** 名
 - ⇒介護福祉士 : **+50** 名 **etc**

環境の変化 2

サービス提供の品質

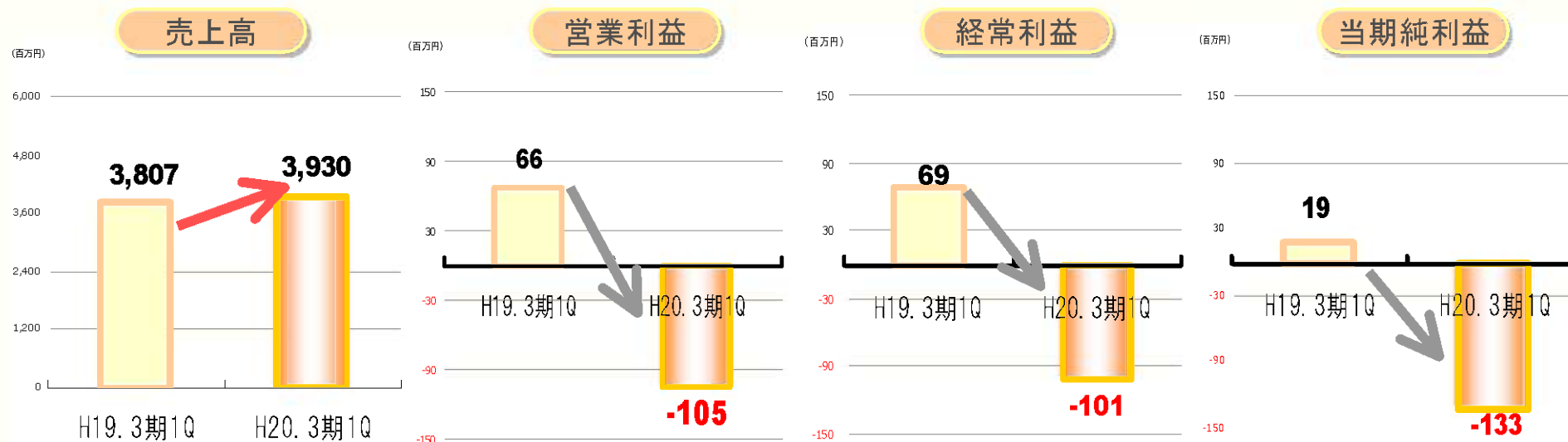
- 訪問介護サービス特定事業所加算
 - ⇒8月取得に向けての取り組み
- サービスごとのスーパーバイザーによる直接指導
- ケアマネジャー、サービス提供責任者など担当者連絡会 定期開催



主力の介護サービス事業拡大のための基礎づくり

平成20年3月期第1四半期 決算概況（連結）

	平成19年3月期			平成20年3月期		
	1Q(実績)	構成比	前期比	1Q(実績)	構成比	前期比
売上高	3,807	100.0	+13.3	3,930	100.0	+ 3.2
営業利益	66	1.7	+2.3	△105	△2.7	-
経常利益	69	1.8	△1.5	△101	△2.6	-
当期純利益	19	0.5	△28.9	△133	△3.4	-



平成20年3月期第1四半期 実績の構造（連結）

《前期比伸び率》

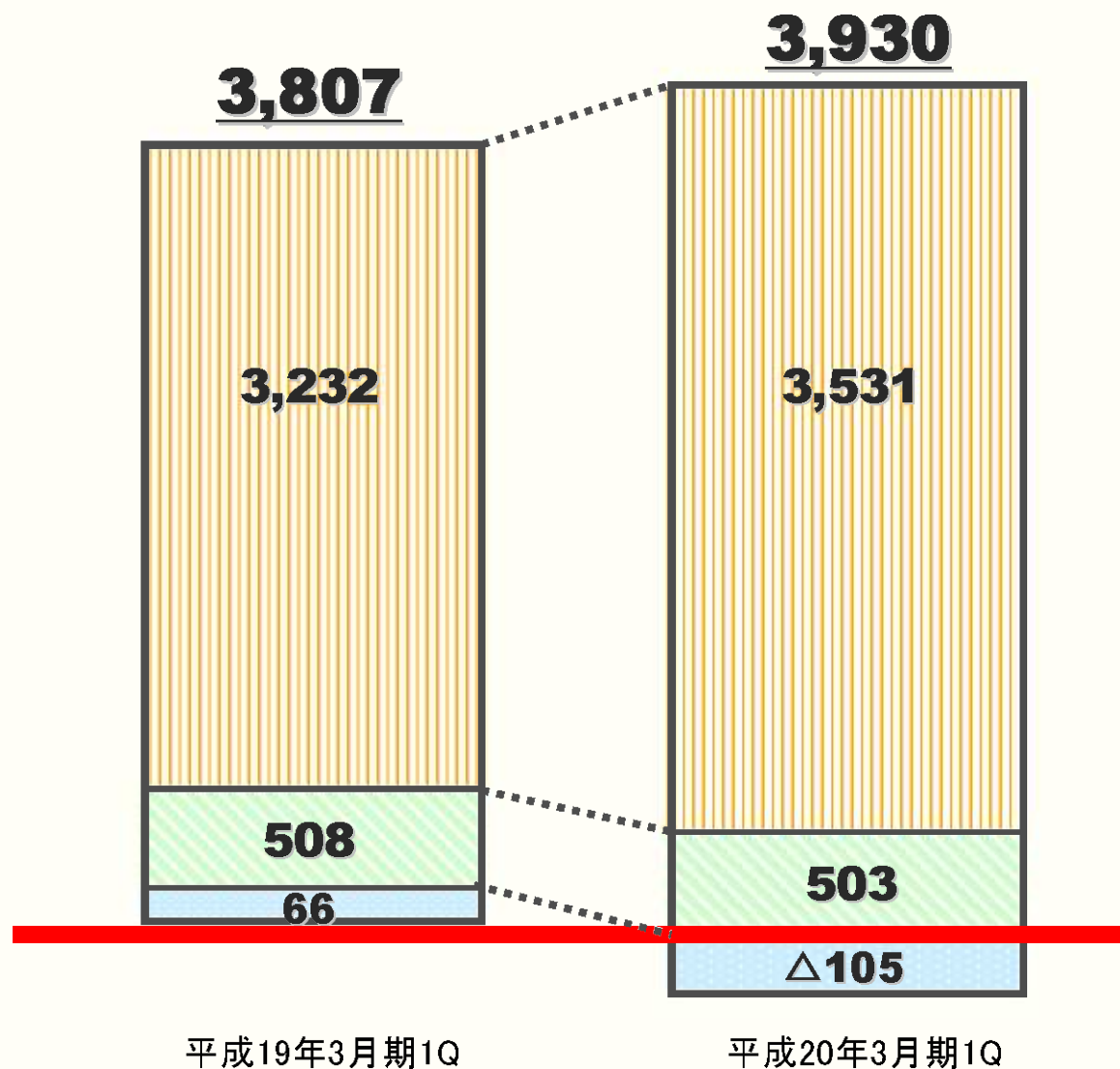
（単位：百万円）

売上高 **3.2%増**

売上原価 **9.3%増**

販売費および
一般管理費 **1.0%減**

営業利益 **-**



平成20年3月期第1四半期 業績 前年比のポイント



(単位: 百万円)

	平成19年3月期		平成20年3月期	
	1Q (実績)	前期比	1Q (実績)	前期比
売上総利益	575	+15.9%	398	△30.7%
売上総利益率	15.1%	+0.3p	10.1%	△5.0p

主な要因

主力 訪問系サービスの収益力低下

訪問介護サービス

前年同期比 売上総利益率 △0.3p

お客様の減少 (前年同期比△2.3%)
介護予防比率の上昇 (同 +18.8p)
お客様単価の減少 (同 △3.4%)

訪問入浴サービス

前年同期比 売上総利益率 △2.4p

お客様の減少 (前年同期比△3.1%)
入浴車稼働率の減少 (同 △2.1%)

居宅介護支援サービス

前年同期比 売上総利益率 △14.7p

お客様の減少 (前年同期比△9.2%)
CM一人当たりの給付件数の減少
(同 △13.8%)

訪問看護サービス

前年同期比 売上総利益率 △8.0p

ダイレクトFCの増加 (前年同期比+116.7%) に
ともなうFC原価の上昇

-今期の対策-
特定事業所加算の取得

-現状-
障害者入浴、自治体
横だしサービスの受注、
炭酸泉効果により下
げどまり傾向

当期計画に織り
込み済み

当期計画に織り
込み済み

平成20年3月期第1四半期 出店件数（連結）



（単位：ヶ所）

		平成19年3月期末	平成20年3月期1Q	増加	減少	前期末比
東北	宮城県	9	9	0	0	0
	東京都	65	59	+1	△7	△6
関東	神奈川県	84	82	+1	△3	△2
	千葉県	62	63	+3	△2	+1
	埼玉県	2	2	0	0	0
	茨城県	1	1	0	0	0
	静岡県	14	14	0	0	0
中部	愛知県	8	8	0	0	0
	新潟県	1	1	0	0	0
	長野県	1	1	0	0	0
	兵庫県	23	24	+1	0	+1
関西	大阪府	7	7	0	0	0
	和歌山県	7	6	0	△1	△1
九州	福岡県	2	2	0	0	0
合 計		286	279	+6	△13	△7

平成20年3月期第1四半期 出店エリア（連結）

前期末比増加事業所内訳

● 訪問看護事業所	+1
● デイサービス事業所	0
● 訪問介護事業所	△9
● グループホーム	0
● その他	+1

連結合計 $\Delta 7$

Topics

平成19年7月 北海道エリア2ヶ所追加



数字は平成19年6月実績

平成20年3月期は

「利益重視型企业」転換の基盤とする

チャレンジ元年

お客様にとっての利益

- 特定事業所加算の獲得 サービスの質向上
- 分社化によるお客様価値の最大化
- スピーディーな対応

社会にとっての利益

- ニューケアスタイルのビジネスプラットフォーム構築
- 訪問看護サービスの強化 在宅療養の基盤整備
- コンプライアンスの遵守

株主様にとっての利益

- 社会貢献の充実
- 当期純利益の達成

従業員にとっての利益

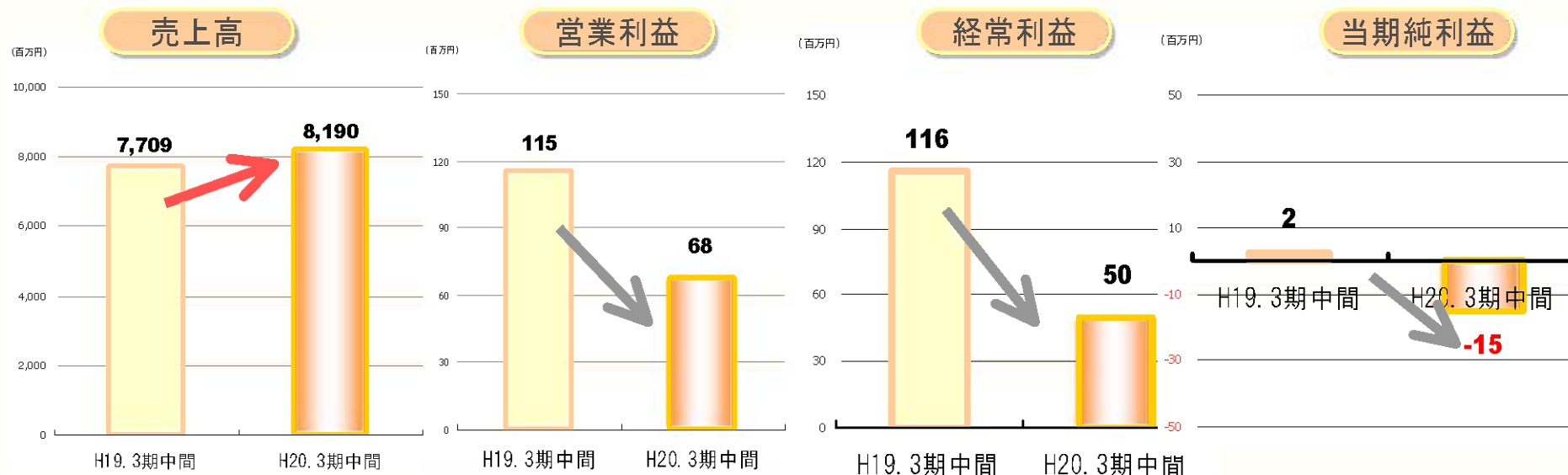
- 研修支援の強化
- キャリアアップ制度の充実 社員登用推進
- クロスオーバーミーティングの導入

平成20年3月期[中間] 業績の見直し（連結）

～変更なし～

（単位：百万円、％）

	平成19年3月期			平成20年3月期		
	中間（実績）	構成比	前期比	中間（予測）	構成比	前期比
売上高	7,709	100.0	+12.7	8,190	100.0	+ 6.2
営業利益	115	1.5	△44.1	68	0.8	△41.2
経常利益	116	1.5	△45.7	50	0.6	△56.7
当期純利益	2	0.0	△96.8	△15	△0.2	-



重要活動 1

訪問介護サービス

- 特定事業所加算の獲得 平成19年8月から**取得開始**
- 介護福祉士の増員 特定事業所加算人材要件取得の準備
(資格取得支援講座開催etc.)
- 特定事業所加算の利益効果予測 (体制要件、重度化対応要件)

(単位:百万円)

エリア	H20. 3期 特定事業所数		プラスインパクト		備考
	中間	期末	中間 (9月まで)	期末 (翌年3月まで)	
東北	3ヶ所	4ヶ所	1	8	体制要件、 重度化対応要件 10%加算
東京	16ヶ所	21ヶ所	8	37	
千葉	21ヶ所	24ヶ所	9	39	
神奈川	13ヶ所	15ヶ所	6	27	
中部	6ヶ所	7ヶ所	2	10	
西日本	4ヶ所	6ヶ所	0	4	
合 計	63ヶ所	77ヶ所	28	128	

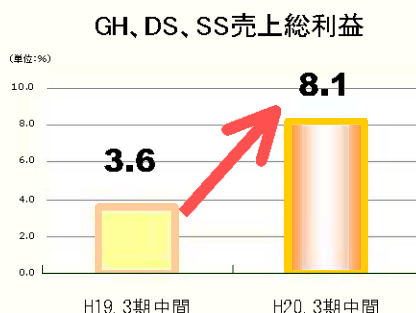
重要活動 2 グループホーム、デイサービス、ショートステイ

- 既存事業所の安定、新規開発の見直し
初期投資の負担軽減による収益力の向上

～3事業売上総利益計画 前期比～

(単位：百万円)

事業	H19. 3期中間（実績）	H20. 3期中間（計画）	前期比
事業所数	37ヶ所	51ヶ所	+14ヶ所
（内新規）	9ヶ所	7ヶ所	△2ヶ所
売上高	851	1,269	+417
売上総利益	30	102	+72
売上総利益率	3.6%	8.1%	+4.5p



※ 入居率、稼働率の安定化と向上

《参考》	H18年7月末	H19年7月末
グループホーム入居率	88.8%	91.4%
デイサービス稼働率	63.0%	73.0%

TOPICS 1

サービス拠点のエリア拡大

当第1四半期の基盤整備を足がかりに重点を絞った
拠点展開

TOPICS 1

業務提携による事業拡大

同業、他業種にこだわらない提携の実施
ニューケアスタイルビジネスの構築

介護保険事業の拡大+ニューケアスタイルの確立

社会貢献、お客様のニーズへの対応への新たな第一歩

当資料の将来にわたる予想の部分につきましては、皆様の投資の参考資料として提供するものです。したがって、当社の推測・予測にもとづくものであり、確証や保証を与えるものではありません。予測と異なる結果があることをご確認のうえご利用くださるよう、お願い申し上げます。